

みやづ すぎやま てんねんすぎ  
f-4 宮津 杉山の天然杉

京都府宮津市杉山



京都府の北部にある宮津市から南に10キロ程にある杉山、山頂周辺に天然杉の群生地があり、近年実態が解ってきた。林道は許可なく進入はできない。見事な巨木は存在しないが、天然杉の様々な成長過程が観察できるサンプルが多く、貴重な存在である。



杉山の大杉 評価 C

株周 M5.53m(1.3m 2015)

主幹は3mで3分岐、根元から伏条幹が2本、側幹が1本立上がる。根元に古株の一部が残りに、低い位置での古株更新と考えられる。

がりゅうすぎ  
臥龍杉 評価 B

株周 M3.05m(1.3m 2015)

左の主幹の根元に古株があり、岩を伝うように古株の伏条幹が右に5mも伸びている(中央に見える)。その古株を伝うように新しい伏条幹が13mも右に伸びている(くねるように伸びる細い幹が見える)。このような天然杉は全国唯一の存在である。



やどりぎすぎ  
宿木杉 評価 C

M5.76m(1.3m 2015)

群生地最大株。背後の中心に古株があり、それに沿うようにリョウブが宿木する。



ふたまたすぎ  
二俣杉 評価 C

M5.10m(0.8m 2015)

臥龍杉の隣、2mで2分岐、分岐部の背後には細い伏条幹が垂れる珍しいもの。日当たりが良ければ枯れずに成長して、奇怪な樹形になるはずである。

